

その他のテーマ

テーマを変えれば、他にも様々な想定の中で訓練を行うことができます。実践①・②以外にも、多岐にわたる訓練ができます。

他にどんなテーマがあるか、簡単に例をあげておきます。DIGは皆さんの知恵とアイデアで、どんな状況にも変化します。活動の幅を広げる有効な機会になるはずです。色々なテーマでDIGをやってみてください。

【災害ボランティア】

災害ボランティア本部の設置・開設を考える。本部を設置する場所や、動員体制等を状況により変化させましょう。

【行政との連携】

がれき・廃棄物の処理、一時保管等を考える。復旧は廃棄物撤去から始めなければならないが、運搬先を確保しなければならない。

【企業・事業所】

企業の災害時対応を考える。地域での役割や、従業員の安全な避難等の対策を講じる。

【育児者】

幼稚園・保育園までのお迎えのルートと所要時間を考える。子どもが災害発生時に登下園中か、保育中かで、親の行動に違いが生じます。

【災害時要援護者と福祉関係者】

災害時要援護者の避難誘導や避難方法を考える。要援護者の位置や、そこからの避難場所等を考え、対応出来る状況を確認する。

【福祉関係者】

福祉施設へ住民が避難してきた場合の対応を考える。通常の避難場所と比べ、医療現場としての可能な対策も講じましょう。

【観光業者】

周辺道路の大渋滞対策を考える。車を使用した避難は、幹線道路の渋滞が予想され、避難の遅れを緩和しましょう。

【自主防災組織】

被災後は盗難が多発する社会情勢を考え、防犯対策を考える。避難所生活が続く中で自宅を空けることが長引くと、治安悪化の予防も必要です。